

## 米子市教育振興基本計画(素案)に対する意見募集(パブリックコメント)の結果について

No.	意見の概要	市教育委員会の考え方
1	<p>子ども達の学力や意識を高めていこうということが良く感じられる。しかし、子ども達の学習や活動を率いていくはずの教員の立場の方にももっとスポットを当ててほしい。</p> <p>学校における様々な教育活動の充実、推進が明記されている。学校教育の主役はもちろん児童生徒なので、主語は子どもたちになるのは分かるが、そこでの教育活動の効果を児童生徒に上手く広げていくのは教員の役目であると思う。</p> <p>教育現場での人材不足や働き方改革がよく言われている。教員のスキルアップや力を出せる環境整備に関しては自治体の力も必要ではないか。教員がしっかりと力を発揮できるからこそ、子ども達へしっかり計画の内容が還元できると思う。教師の力の向上、働きやすい環境づくりも教育振興の一助になるのではないか。</p> <p>具体的に言うと、スキルアップの機会の確保や働きやすい環境の整備、学校教育支援員の拡充、各支援員の増員等、現場で働く者へのフォローもはっきり振興計画に明記することで、児童生徒に米子市の取組が還元されやすい環境作りにつながるのではないかと考える。</p>	<p>教員のスキルアップと職場環境整備についてご意見を頂戴したところですが、本市としても子どもたちに確かな学力を身に付けさせるためには、教員の指導力向上や職場環境の整備は当然欠かせないものと考えております。</p> <p>教員の指導力向上については、引き続き、授業力向上講座やICTに係る研修等を行い、教員のスキルアップを図りたいと考えております。職場環境においては、勤務時間外や休日における教職員の電話対応に係る負担軽減のため、学校の電話対応時間に制限を設けたり、学校現場と連携しながら、定期的に働き方改革推進に向けての協議を行ったりして、教員の業務軽減等に努めてきたところです。引き続き、各支援員の配置増員等も含め、職場環境整備を行ってまいります。</p> <p>本計画としては、原案どおり実施したいと考えておりますが、頂戴したご意見も参考にしながら、更なる職場環境の整備に努め、教員が子どもと向き合う時間と教材研究や研修参加等の自己研鑽に費やすことができる時間の確保に努めます。また、教員対象の研修をとおして指導力向上を図ることで、子どもたちの学びの充実に繋げたいと考えております。</p>
2	<p>今までの計画では、環境教育が掲げられていたが今回の見直しでは項立ててない。</p> <p>SDGsの目標が広汎にわたることからあえて項立てすることなく、教育全般の根底をなす視点であるとの見解か？もしそうであるとしたなら、計画策定の前提条件として、明言すべきものと考えます。</p> <p>自他のいのちの大切さが唱えられているが、そこに「環境」という語句を加えて、理念に厚み、継続性を持たせていただきたい。</p>	<p>環境教育について、SDGsとの関連性も含め、ご意見を頂戴したところです。</p> <p>現在、本市の公立小中学校においては、理科や社会等の教科をはじめ、総合的な学習の時間や児童会生徒会活動をはじめとした自治の取組において、環境に関する学びや取組を行っているところです。</p> <p>本市としましては環境教育の重要性は認識しており、教育全般の根底をなす視点であると考え、今後も引き続き、環境教育の充実に努めるとともに、さらにSDGsの理念や目標について幅広く触れることで、子どもたちの学びの充実に繋げたいと考えております。</p> <p>については、本計画としては、原案どおりの実施としたいと考えておりますが、頂戴したご意見も参考にしながら、より一層の環境教育の充実に努めてまいります。</p>

米子市教育振興基本計画(素案)に対する意見募集(パブリックコメント)の結果について

No.	意見の概要	市教育委員会の考え方
3	<p>郷土教育、キャリア教育について項目立てして、市として前向きな姿勢がよくわかり、評価いたします。</p> <p>ちょっと気になった点では、郷土教育が市に関連する過去の資産のみだと、未来への礎としては限界があるように感じます。市内に固定することなく、地域に根ざして大きく育っていった偉人や事業を学び、知見を広めることも郷土発展のためと思います。</p>	<p>本市においては、ふるさとに誇りを持ち、生きる基盤を培う「ふるさと教育」と、その基盤の上に立ち、自らの生き方の道筋を描く「キャリア教育」とを相互に関わり合わせながら、教育活動を行っていきたく考えています。その中で、米子市に関連する資産のみならず、地域に根ざして活躍されている人や事業についても学んでいるところです。今後とも頂戴したご意見を参考に更なる充実に努めます。</p>
4	<p>米子版コミュニティー・スクールの導入の推進について、具体的にはどのようなイメージか？骨子を示していただきたい。</p>	<p>米子市版コミュニティー・スクールの導入の推進についてのお尋ねですが、本市においては、「地域に学び 地域とともに進める 笑顔と感謝でつながる学校づくり」を推進の重点に掲げ、現在、各校区において準備を進めています。</p> <p>具体的には、令和3年度にモデル校区となる市内2中学校区(尚徳中学校区、淀江中学校区)に学校運営協議会を導入したところです。今後は、引き続き、教職員への研修を進めるとともに、地域や保護者の皆様にコミュニティー・スクールの意義について説明を行う場を持つなどし、その他の校区についても順次導入をする計画としています。</p>
5	<p>文化財行政について「文化財保存活用地域計画」の策定にあたり、城址などに限定せず、以前選定された「よなごの宝88」のような市民参加で、市内全域が「ジオパーク」的な精神に満ちた計画づくりを望みます。</p>	<p>現在、作成を進めている「文化財保存活用地域計画」は、国史跡米子城跡などの指定文化財に限定せず、未指定文化財も含めた全市域に残る多種多様な文化財をできる限り網羅的にリスト化します。このため「新修米子市史」に加え、平成28年に選定された「よなごの宝八十八」の候補として市民から寄せられた物件や各公民館が作成された「地域誌・あゆみ」などから対象となる文化財を掘り起こして計画づくりを進めていきます。また、必要に応じて「地域の宝さがしワークショップ」やフォーラムなども行う予定です。</p>